

映像にインデックスを自動付与し一発頭出し

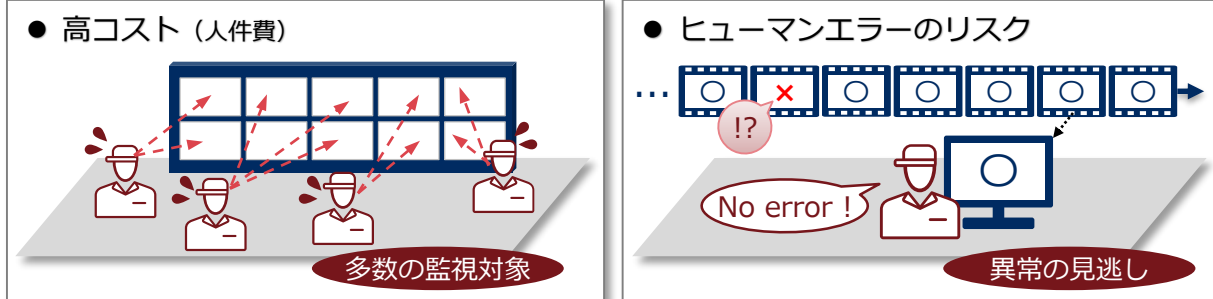
AI映像監視 効率化ソリューション

従来、映像情報を用いた監視作業では膨大な時間をかけて人が目視で確認を行ってききました。大量の映像データの中から目的の場面を抽出しインデックスを自動で付与することで、作業の効率化を行うことができます。

お客様の課題

■ 従来の映像監視業務

監視対象が映ったリアルタイム動画や録画データを再生して、注目したい場面や変化が発生した場面が出てくるまで人が目視で確認していたため、対応要員が多くなり高コストになるなどの課題がありました。



■ 映像監視システム

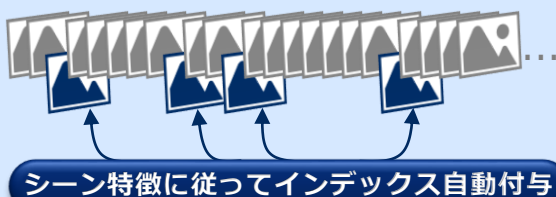
AI画像解析技術により、あらかじめ設定登録しておいたシーンの特徴をもとに目的のシーンに自動でインデックスが付与されます。これにより目的のシーンを簡単に頭出し再生することができます。

● AI映像監視の構成



● 運用イメージ

① 自動インデクシング



② 見たいシーンをらくらく頭出し



本システムを活用することで、映像情報を用いた監視・点検の業務を効率的に行うことができます。

特徴

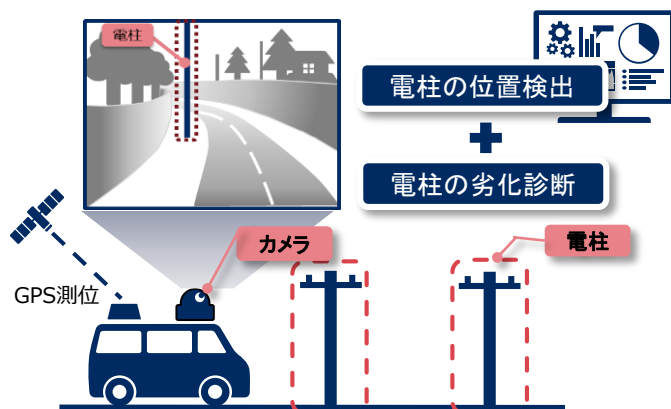
■道路設備点検

【概要】

- 点検車両にカメラを搭載し、道路設備を定期的に撮影
- 画像解析で点検対象の設備を判断し、その位置にインデックスを自動付与
- 位置情報も合わせて記録
- ビューワーで点検対象を強調表示

【特長・効果】

- 異常見落としによる事故発生リスクの抑制
- 点検業務コストの低減
- 独自技術により画像解析の制度を向上
(特許出願中：2017-235838)



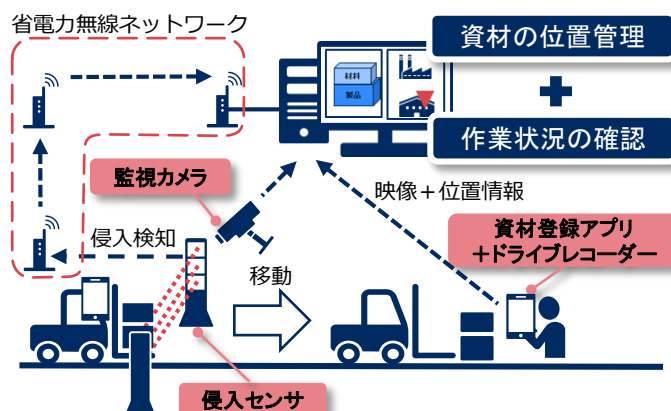
■資材管理

【概要】

- 資材置き場の出入りにセンサを取付け、人・フォークリフトの出入りを検知
- フォークリフトオペレータのスマホで運搬映像を撮影(ドライブレコーダ機能)
- スマホで置いた資材のバーコードを読み取り、資材の位置を登録

【特長・効果】

- 資材置き場内の作業を映像で確認可能
- 資材の位置を管理し、効率的に探せる
- 省電力無線ネットワークと組合せ、簡単にセンサの追加が可能

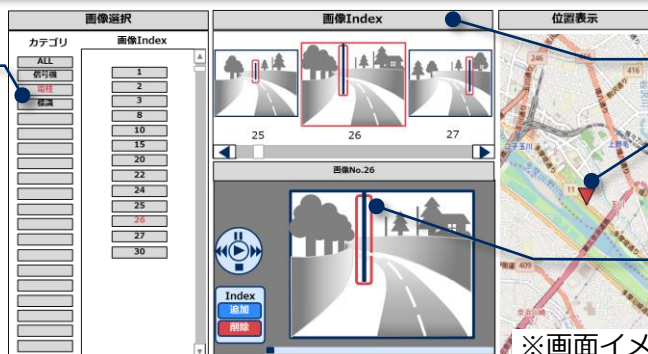


機能

- 監視対象のカテゴリとインデックス表示
- インデックスの追加・削除
- インデックス選択による確認シーンの頭出しと自動再生
- 点検対象の強調表示
- インデックス位置を地図上に表示

道路設備点検の例

監視対象をカテゴリ分けしてインデックスすることが可能。
道路設備の例では「信号機」、「電柱」や「標識」など。



※画面イメージは開発中のものです

お問い合わせは、下記へ

NEC通信システム

システム営業本部

〒108-0073 東京都港区三田一丁目4-28 (三田国際ビル)

URL: <http://www.ncos.co.jp/>

- 本製品（ソフトウェアを含む）が外国為替および外国貿易法の規定により、輸出既製品に該当する場合は、日本国外に持ち出す際に日本国政府の輸出許可申請書等必要な手続きをおとり下さい。ご不明な場合は、上記問合せ先へご相談ください。
- 記載の製品名および会社名は、各社商標または登録商標です。
- このカタログの内容は改良のために予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。